

# あなたがたの切り出された岩、掘り出された穴を見よ。

イザヤ51:1

## 2013(25)年 週 報

11月24日

第4聖日

第3327号

「互いの為の祈り」

聖  
言

兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって切に願います。私のために、私とともに力を尽くして神に祈ってください。

ローマ15:30

### 霊の健康体

「神様。私の願いを適えてくださるならあなたを信じます。」  
という神様を試してみる肉の思いの祈りから勝つ秘訣は自分の願いが聞かれても聞かれなくても感謝することです。その時、直ぐには聞かれなくても聞かれません、各自に相応しい解決を与えてください。膠原病の原因となつてくるのは、自分自身が細菌やウイルスなどの体外から入ってくるものに対抗するため持つている免疫機能に異常が起きて自分自身の正常な細胞を攻撃することではないかとされています。すなわち内部闘争で自己破壊をするのです。信仰においても欲望や肉の願いが強くなると罪のウイルスが良心の叫ぶ声を食うため罪にたいする抵抗力がなくなるのです。主イエスの十字架を見上げ、罪のウイルスを聖霊により滅ぼしていただき、神様と良心に恥じない生活をしましょう。神の御心を行うことのできる霊的な健全な体に造られこの世をリードしなければなりません。確かに日々肉体は老化します。しかし、霊の体は信仰により聖霊により日々新しく元気にしていただくのです。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 神戸長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

[minoru\\_yamamoto@hotmail.co.jp](mailto:minoru_yamamoto@hotmail.co.jp) メール [m7-inoru@ezweb.ne.jp](mailto:m7-inoru@ezweb.ne.jp)

二〇一三年一月一七日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「クリスチャンの交わり」

「というのは、途中あなたがたに会い、まず、しばらくの間あなたがたとともにいて心を満たされてから、あなたがたに送られて、そこへ行きたいと望んでいるからです。」(ローマ一五ノ二四)

パウロの願いは世界に伝道することであった。しかし、神は彼にエルサレムの聖徒にマケドニアや異邦人の義援金を届けねばならなかった。彼は優先順位を知っていた。異邦人にあなたはエルサレムの聖徒から霊的な祝福を与えられたのだから生活面の助けをするのは相応しいことであると勧めた。それが完了した時点で、ローマの聖徒に励まされ、当時の地の果てのイスパニヤに伝道すると願う。時間は有限である。最優先の事柄、すなわち、神の栄光が現れる御業から奉仕を行うことが大切です。そうするなら、神は私たちの願以上の御業を行ってくださいませ。

二〇一三年一月二〇日午後七時 祈祷会 山本牧師

「バルクの祝福」

「あなたは、自分のために大きなことを求めるのか。求めるな。見よ。わたしがすべての肉なる者に、わざわいを下すからだ。主の御告げ。しかし、わたしは、あなたの行くどんな所でも、あなたの命を分捕り物としてあなたに与える。」(エレミヤ四五ノ五)

四五章は三六章に続くものである。エレミヤに告げられた神の御告げを口述に従ってバルクは巻物に書いた。それをエホヤキム王に読んだ。王は読み終わると、巻物の断片を暖炉に燃やした。神は王が御言葉を軽率に扱うなら、王もイスラエルも裁かれると預言した。神の御言葉にたいする、あり方によって人生が変わる。

第十一回 癒し五〇日連続祈祷

一〇月一八日(金)～二月六日(金) 午後一時～午後一時半

(祈りの後、楽しいティーで休憩)

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

二〇一四年新年聖会

元旦(水) 午前一〇時 元旦礼拝

二日(木) 新年過ぎ越し聖会

午前一〇時 聖餐式聖会 山本師

午後二時 足達師

午後七時 西田師 新年祈祷会と牧師会

二月の計画

一日(日) 役員会

三日(火) 納骨堂掃除 午前一〇時

五日(木) 榊原家集会 午後二時

一三日(金) 神戸市民クリスマス 午後七時 神戸文化ホール

二二日(日) クリスマス賛美礼拝 午前一一～午後〇時半

二三日(月) クリスマスコンサート 午後二～四時

二三日(月) クリスマス大日丘集会 午後二時～四時

十二月の召天会員

五日	小仲 一郎兄	一七周年
七日	魚住 桂二兄	四四周年
八日	中島きよ子姉	七二周年
九日	松田 勇夫兄	二周年
十二日	森 あやぶ姉	六一周年
十二日	紺本清太郎兄	五一周年
十二日	中瀬 清文兄	四周年
十五日	矢上栄一郎兄	二九周年
十八日	砂川 照代姉	三一周年
十八日	西川 省三兄	四八周年
十九日	片山 忠蔵兄	六七周年

二四日 三永 隆生兄 二二周年  
 二四日 佐藤 秀姉 一五周年  
 二五日 松田 洋子姉 四六周年  
 三一日 片山 繁兄 四二周年  
 三一日 木村 喜一兄 四〇周年

**宣教②**

第三課 歴史の主人公になられた神

―世界宣教の歴史―

三・一 迫害の中で花開いたローマ帝国宣教時代

(〇〇〇年) 第一期

三・一・一 ユダヤ人が証人となった宣教

イエスの十字架の死と復活、昇天の後、使徒とその弟子たちの宣教の歴史が、使徒の働きに記録されている。地のすべての民族を祝福なさろうとする神のご計画はエルサレムでの五旬節の聖霊降臨に始まり、爆発的に展開していった。当時の宣教の主役は取るに足らないユダヤ人だったが、イエス・キリストに対する彼らの信仰は後に全地域を福音で覆った波の源となった。(使徒二二ノ二〇)。その起爆剤となったのは、ユダヤ人だけでなく全ての異邦人も信仰によって神の民になれることを宣べ伝えた使徒の決定だった(使徒一五ノ一三〜二六)。

三・一・二 ローマ帝国の迫害と福音による帝国占領

一 二使徒と使徒パウロを初めとする弟子たちの情熱によって始まった宣教は、五旬節の出来事と紀元七〇年のエルサレム滅亡によってローマ帝国内に流入していった。当時のローマは「皇帝崇拜思想」によって皇帝だけを「主(キリスト)」と呼ぶことができた。そのためイエスを主と告白するキリスト教徒は当然のごとくローマ帝国の迫害に免れなかった。しかしキリスト教徒

は道徳的に墮落したローマ文化と迫害の中でもきよい体と魂を守り、福音の強力な証人としてローマ社会を圧倒していった。だが、その過程で多くのキリスト教徒が命を落とした。こうした殉教の歴史は福音の炎をさらに燃え上がらせた。自発的に行く宣教の典型とも言える。福音の拡大要因は帝国内にも存在した。公用語として使われたラテン語とギリシャ語は帝国の隅々に巡らされた道路網、統治方法などを通して、福音は瞬く間に帝国とその周辺国家にまで広がった。遂には三二三年に皇帝コンスタンティヌス一世のミラノ勅令によってキリスト教が公認され、三八〇年に皇帝デオドシウス一世によってキリスト教がローマの国教に認定された。自発的に行く宣教の実と言えるだろう。

続き(ワイ ミッションより)

**今年のクリスマスの**

日時 一二月二二日(日)

賛美礼拝 午前一一時

コンサート 午後二時

ピアノと賛美 水野夏子姉、水野洋一兄、

ギター演奏 木島 泰兄

大日丘クリスマスたこ焼き会

日時 一二月二三日(月)

たこ焼き会 午後二時、

ギター演奏 木島 泰兄

**クリスマス約束献金実施中**

献金必要金額 一二五万円

乞う祈禱と御協力

役員、会計、牧師